

北朝鮮に拉致された 8 件 11 人の真相解明を求める決議

上記の議案を提出する。

平成 14 年 3 月 28 日

提出者

10 番 山 本 敏 男

14 番 田 中 節 男

27 番 寺 山 光一郎

武蔵野市議会議長 井 口 良 美 殿

## 北朝鮮に拉致された8件11人の真相解明を求める決議

昭和58年、英国留学中の元神戸市外国語大学生有本恵子さんが北朝鮮に拉致されたとされる事件で、拉致にかかわった日航機「よど号」乗っ取り犯の元妻八尾恵証人が、3月12日に東京地裁で開かれた赤木恵美子被告（旅券法違反などの罪）の公判に、検察側証人として出廷し、「リーダーの田宮高麿（故人）らから指示を受けて工作にかかわった」と自らの関与を認めた。

日本政府が北朝鮮による日本人拉致事件を認定したケースは、これで8件11人となる。北朝鮮は昨年暮れ、日朝両国の赤十字間で合意していた「日本人行方不明者消息調査」を一方向的に中止した。北朝鮮に拉致などあり得ないし、あったこともない、というのがその理由である。その欺瞞が今回の証言により根底から覆されたのである。

これは人道問題であると同時に、日本の主権に対する侵害という大きな政治問題である。政府は早急にこの新たな事実を北朝鮮に突きつけ、拉致問題の存在を認めさせるようにしなければならない。

有本さんのご両親をはじめ多くのご家族が高齢化を迎えている現在、この先の心配や懸念の種が尽きないでいるという。ご家族を安心させるためにも拉致された方がたの一日も早い帰国を望まずにはいられない。

よって武蔵野市議会は、北朝鮮に拉致された8件11人に対して、政府としての第一義である自国民を守るという強い意志を内外に示すとともに、拉致された方々の一日も早い救出と事件の解明に全力を尽くすことを強く求めるものである。

以上、決議する。

平成14年3月28日

武蔵野市議会